

1 現状と課題の分析

①地域概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊田市の北東部、長野県と岐阜県との県境に位置しており、面積の約87%が山林に占められている「矢作川の水源のまち」である。 ・ 塩の道（中馬街道）として有名な飯田街道（国道153号）と美濃街道（国道257号）が交差する宿場町として栄えた歴史がある。 ・ 大井平公園やどんぐりの湯等の観光資源の整備が進み、観光客の増加が期待される。 ・ 地域住民と来訪者の交流や街並み景観の向上を目指し「歩かまい稲武（ウォーキング大会）」「花街道いなぶ（花飾り事業）」他、多くの事業に取り組んでいる。 		
②最寄り駅	名鉄豊田市駅	③最寄り駅からの距離	約4.5km
④商店街区域	市道稲武線を中心とした稲武地域全体		
⑤商店街区域内の店舗数	79店舗（R3年4月1日現在）		
⑥うち組合加入店舗数	19店舗 がカード会事業に参加	⑦商店街区域内の空き店舗数	3店舗
⑧商店街の加入店舗構成	生鮮三品（ 2店 2.5%）、衣料品（ 2店 2.5%）、 その他小売り（ 29店 36.7%） 飲食店（ 25店 31.6%）、サービス（ 21店 26.7%）、 その他（ 店 %）		
⑨商店街の特徴、強み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺地域を含めた広域な商圈を有しており、規模は小さいが、最寄り品から買回り品まで多様な店舗が存在する。 ・ 交通の便が悪く、車がないと買物にも不自由する。 		
⑩来街者 （主なもの一つに○）	<input type="radio"/> 高齢者	<input type="radio"/> 主婦	<input type="radio"/> ファミリー
	<input type="radio"/> 若者	<input type="radio"/> 観光客	<input type="radio"/> その他（ ）
⑪来街者交通手段 （主なもの一つに○）	<input type="radio"/> 徒歩	<input type="radio"/> 自転車	<input type="radio"/> バス
	<input type="radio"/> 自家用車	<input type="radio"/> 鉄道	<input type="radio"/> その他（ ）
⑫来街者の来街に要する時間 （主なもの一つに○）	<input type="radio"/> 15分未満	<input type="radio"/> 15分以上30分未満	<input type="radio"/> 30分以上1時間未満
	<input type="radio"/> 1時間以上		
⑬商店街等が抱える課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲武地区の人口減少（10年で20.2%減少（R3.4.1現在））、高齢化（高齢化率50.3%（R3.4.1現在））に比例して、店主の高齢化や後継者不足が進み、組合員数、会員（顧客）数の双方が減少することが懸念される。 ・ 時代にあう、あるいは魅力ある品揃えが困難となり商店の魅力が薄れ、客離れが進むことが懸念される。 ・ カード会事業参加店舗数が19店舗で商店数全体の24.1%程度と少なく、事業の魅力（＝顧客メリット）が乏しい。 		
⑭地域住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年10月、地域内全戸（880戸）に対して、買物に対するアンケートを実施。（回収率45.1%） 車に頼らないと買物ができない状況であり、今後への不安を感じる。 交通手段が不便である。 移動販売や宅配に関心がある人が多い。 地元で買い物をしたことのない方も多く、地元の商店は何でも高いというイメージが強い。 等の傾向があった。 ・ 毎年9月～10月にかけて、各地区に出かけてヒアリング調査を実施。 コープ岐阜等の利用や、地域外に買い物に出かける人が多い。 店の対応に不満を持っている人も多い。 等の意見が出された。 		

2 商店街の目指す将来像及び目標

①商店街の目指す将来像	「皆さまのお買い物・生活・コミュニティに対応できる稲武商店街を目指します」 ・ お買い物だけでなく、生活者の利便性の向上やコミュニティづくりのツールとしてポイントカード事業（ネコちゃんカード）を活用します。 ・ 生活者の利便性向上やコミュニティづくりに寄与する目的で、高齢者対策や地域行事、ボランティア活動に積極的に取り組みます。 ・ 観光交流、都市交流資源を活用し、創業・事業承継そして販路開拓に取組みます。			
②基本目標 （4年後の達成目標数値）	カードの加盟店舗数の増加	歩行者通行量の増加		
	令和4年度 19店舗	令和5年度 21店舗	令和6年度 23店舗	令和7年度 25店舗
	[平日] 120人	令和5年度 130人	令和6年度 140人	令和7年度 140人
	[休日] 180人	190人	200人	200人

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	街並みの灯り事業				
	事業区分	新規・ 継続	事業開始年度（継続の場合のみ）	平成24年度	
②実施予定時期	令和4年4月～令和8年3月				
③具体的内容	(街並みに灯りを設置) ・商店街の中心地点の空地にシンボリックなイルミネーションの装飾を実施する。 ・各商店に、間伐材で作ったランプシェード等を飾る。 (イベント) ・商店街の年末商戦に合わせて、小学生・中学生の作品を会場内に展示するとともに、演奏等のイベントを実施する。 ・来場者に対しては、抽選会を実施し、地元で買い物をしたことのない方を中心に顧客の開拓をはかる。				
④必要性・目的	高齢化や過疎化が進む稲武地区にとって、地元商店が事業を通して、多くの方々と交流を深め、売上の向上を図ることが重要である。				
⑤ターゲット・コンセプト	豊田市稲武地区及び周辺の住民並びに観光客				
⑥事業費・採算性の説明	510,000円 (内訳)	会場設営費 消耗品費 印刷製本費 報償費 雑費	129,600円 (電気工事、設営撤去) 194,400円 (イルミネーション、材料費) 72,408円 (チラシ印刷、折込料) 100,000円 (出演料) 13,592円 (振込手数料 他)		
⑦新規取組内容、改善点(先導性、先進性、モデル性等)	商店街ではポイントカードで抽選会に参加いただいていたが、今後は、年末催事限定の抽選補助券を用意し、年末売出しへの来店者数や金額が把握できるよう仕組みを見直し、今後の事業の基礎資料とする。				
⑧事業効果	街並みに灯りがある風景の演出、それにともなうイベントの実施により、商店街の賑いを創出し、年末商戦の集客をはかる。ポイントカード加盟店によるイベントとして、加盟店商品券等の賞品により、加盟店への誘客に努めることにより、新たな加盟店舗の増加を目指す。また、小学生・中学生に作品制作で参画していただくことにより、その親等の来場が期待され新たな顧客獲得につながる。				
⑨目標 評価指標 測定手法	年末売出し期間中(12/15～12/30頃)の来店者数のアップ 103% ヒアリング・抽選補助券枚数で測定する。				
⑩推進体制	稲武小学校・稲武中学校と連携し、子供たちの作品展示等を行う。				
⑪関連計画や事業(地域の動き等)	稲武地域まちづくり推進協議会				
⑫計画期間の事業スケジュール	項目	4年度【1年目】	5年度【2年目】	6年度【3年目】	7年度【4年目】
	事業	10月～11月企画・準備 12月中旬 イベント 2月～ 検証	10月～11月企画・準備 12月中旬 イベント 2月～ 検証	10月～11月企画・準備 12月中旬 イベント 2月～ 検証	10月～11月企画・準備 12月中旬 イベント 2月～ 検証
	予算(千円)	510	510	510	510
	関連計画や事業	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会
	市補助金の申請見込み	有	有	有	有
目標達成状況	前年度来店者数の103% 約 2,000人	前年度来店者数の103% 約 2,060人	前年度来店者数の103% 約 2,120人	前年度来店者数の103% 約 2,180人	

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	ギフト受注事業(通信販売サイトの活用)																			
	事業区分	新規・ 継続	事業開始年度(継続の場合のみ)	平成29年度																
②実施予定時期	令和4年4月～令和8年3月																			
③具体的内容	<p>【ネット通販事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ以降、ネットを活用した通信販売のウエイトが上昇しており、稲武地区でも、各個店で扱うギフト商品等を一ヶ所の通信販売サイトで購入できるよう、稲武産商品をまとめたホームページの整備を進める。 ・事業PRのために作成するパンフレットは、自治区長を通して各戸配布や、道の駅等の集客施設や事業者を通して配布し、事業の周知を図る。 ・SNSを活用した周知活動を事業者個々で行っていく予定であり、そのための能力向上のため専門家の指導をいただく。 <p>【リモート体験事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節毎に、こだわり商品の製造風景や収穫体験などを消費者とリモートで結び、稲武ファンを増やし、購入のきっかけづくりを行っていく。 																			
④必要性・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・リモート体験型通販サイト「どこでもいなぶ」を活用し、生産・製造者と消費者をリモートでつなぎ、購入した商品のこだわり等を直接消費者に伝える事に特化した新しいビジネスモデルの確立を目指す。 ・リモート体験や通信販売を通じて稲武を知ってもらい、稲武ファンを増やして稲武地区への来訪者が増える事を目指す。 ・稲武出身者等の稲武ファンも多くいるはずである。そんな稲武ファンを発掘し、稲武産ギフトで稲武を応援いただけるよう働きかける。 ・自社製品はもっているが、ギフト商品を持っていない事業所もあり、これを機会にギフト商品を開発し販売チャンネルを増やすことができる。 																			
⑤ターゲット・コンセプト																				
⑥事業費・採算性の説明	<table border="0"> <tr> <td>950,000円 (内訳)</td> <td>広報費</td> <td>272,800円</td> <td>(パンフレット等印刷)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消耗品費</td> <td>109,200円</td> <td>(ギフトボックス、封筒等印刷)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>委託費</td> <td>398,000円</td> <td>(ホームページ更新、管理費用 他)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>報償費</td> <td>170,000円</td> <td>(専門家謝金・旅費)</td> </tr> </table>				950,000円 (内訳)	広報費	272,800円	(パンフレット等印刷)		消耗品費	109,200円	(ギフトボックス、封筒等印刷)		委託費	398,000円	(ホームページ更新、管理費用 他)		報償費	170,000円	(専門家謝金・旅費)
950,000円 (内訳)	広報費	272,800円	(パンフレット等印刷)																	
	消耗品費	109,200円	(ギフトボックス、封筒等印刷)																	
	委託費	398,000円	(ホームページ更新、管理費用 他)																	
	報償費	170,000円	(専門家謝金・旅費)																	
⑦新規取組内容、改善点(先導性、先進性、モデル性等)	<p>コロナ禍で来客の減少などに悩まれた。そこで、生産・製造者と消費者をリモートでつなぎ、購入した商品のこだわり等を直接消費者に伝える事を目指しリモート体験型の新しいビジネスモデルの確立を目指す。</p> <p>また、このリモート体験がファンづくりにつながり、通信販売の売上向上に結び付く。</p>																			
⑧事業効果	<p>リモート体験を通じた新たなファンづくりや商品の周知活動により、新たな顧客を獲得するきっかけにし、個店の売上アップにつなげる。</p>																			
⑨目標評価指標測定手法	<p>通信販売商品の開発や周知活動により、新たな顧客を獲得するきっかけにし、個店の売上アップにつなげる。</p> <p>通信販売売上件数及び金額 80件、400,000円【R4年度目標】</p>																			
⑩推進体制	<p>㈱どんぐりの里いなぶ、自治区長と連携をとりながら推進</p>																			
⑪関連計画や事業(地域の動き等)	<p>稲武地域まちづくり推進協議会</p>																			
⑫計画期間の事業スケジュール	項目	4年度【1年目】	5年度【2年目】	6年度【3年目】	7年度【4年目】															
	事業	4月～ 事業検討、ギフト企画(夏用) 7月～ 夏のリモート体験スタート 9月～ ギフト企画(冬用) 11月～ 冬のリモート体験スタート 2月～ 検証	4月～ 事業検討、ギフト企画(夏用) 7月～ 夏のリモート体験スタート 9月～ ギフト企画(冬用) 11月～ 冬のリモート体験スタート 2月～ 検証	4月～ 事業検討、ギフト企画(夏用) 7月～ 夏のリモート体験スタート 9月～ ギフト企画(冬用) 11月～ 冬のリモート体験スタート 2月～ 検証	4月～ 事業検討、ギフト企画(夏用) 7月～ 夏のリモート体験スタート 9月～ ギフト企画(冬用) 11月～ 冬のリモート体験スタート 2月～ 検証															
	予算(千円)	950	950	950	950															
	関連計画や事業	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会															
	市補助金の申請見込み	有	有	有	有															
	目標達成状況	利用件数 80件 利用金額 400,000円	利用件数 100件 利用金額 500,000円	利用件数 120件 利用金額 600,000円	利用件数 140件 利用金額 700,000円															

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	人材育成事業				
	事業区分	新規・ 継続	事業開始年度（継続の場合のみ）		平成28年
②実施予定時期	令和4年4月～令和8年3月				
③具体的内容	<p>（リーダー研修会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の中心となるべき次世代のリーダーを育成するため、商店街の後継者から希望者を募り、5人程度で研修会を立ち上げ、テーマを絞って月1回程度の研修会を実施する。また、テーマに合わせて講師を招聘する。 ・研修テーマに応じて視察も組み入れる。（1回程度） ・報告書を作成し、今後の活性化計画に活かす。 				
④必要性・目的	<p>地域の過疎化や高齢化も大きな問題であるが、それ以上に店主の高齢化が問題である。免許を返納し配達や仕入に支障が出てきた事業主もあり、商店街の活気が失われつつある。このような状況を打破するには、次世代リーダーの育成が喫緊の課題である。また、このリーダー研修を通して、参加者にリーダーとしての自覚が芽生えることにつながる。</p>				
⑤ターゲット・コンセプト	豊田市稲武地区商店街等の後継者				
⑥事業費・採算性の説明	<p>190,000円 （内訳） 報償費 120,000円（専門家謝金・旅費） 消耗品費 40,000円 雑費 30,000円</p> <p>（参考）専門家の招聘には、中小企業119やあいち産業振興機構等の専門家派遣事業等を活用し、最小限の経費に抑える。但し、登録専門家だけで賅えない事もあるので、講師への報償費も見込む。</p>				
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	<p>実際に自店の経営計画の作成をしていただく。更に、自ら作成した経営計画を、受講者が互いに発表していただき、経営計画の実行性を上げる。</p>				
⑧事業効果	リーダー研修会を通して、参加者それぞれが事業計画（商店街、個店）を作成する。 参加者1人1件				
⑨目標評価指標測定手法	1人1件の次年度以降に向けた事業計画（商店街、個店）を作成し、翌年度以降の経営に活かす。				
⑩推進体制	豊田市、中小企業119、あいち産業振興機構 他 と連携をとりながら推進				
⑪関連計画や事業（地域の動き等）	稲武地域まちづくり推進協議会				
⑫計画期間の事業スケジュール	項目	4年度【1年目】	5年度【2年目】	6年度【3年目】	7年度【4年目】
	事業	9月～10月 募集・企画 11月～2月 研修会の実施 3月～ 検証	9月～10月 募集・企画 11月～2月 研修会の実施 3月～ 検証	9月～10月 募集・企画 11月～2月 研修会の実施 3月～ 検証	9月～10月 募集・企画 11月～2月 研修会の実施 3月～ 検証
	予算（千円）	190	190	190	190
	関連計画や事業	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会	稲武地域まちづくり推進協議会
	市補助金の申請見込み	有	有	有	有
	目標達成状況	研修参加事業者 5名	研修参加事業者 5名	研修参加事業者 5名	研修参加事業者 5名

3 4ヵ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	稲武のお買物配達便																		
	事業区分	新規・ 継続	事業開始年度（継続の場合のみ）	平成25年															
②実施予定時期	令和4年4月～令和8年3月																		
③具体的内容	<p>高齢者支援システム（稲武システム）の推進（主な事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅配事業（注文いただいた商品の配達、集金） ※配達事業者により集金をし、商工会へ入金する。商工会で加盟店ごとに仕分ける ・配達事業（加盟店で買物していただいた商品のうち、かさばるもの、重いものを配達） ・御用聞き（事務局から、定期的に御用聞きの電話をし、発注を促す。安否確認をかねる。） ・集会所等訪問PR事業（老人クラブの集会等に事業PRかねて訪問販売を試行実施。生鮮3品等は除く） 																		
④必要性・目的	車が利用できないと生活に困る地域であり、高齢化率50%を超え、高齢者を中心とした買い物弱者への対応が急務である。この問題への対応に、地元商店の生き残りがかっているものと思う。																		
⑤ターゲット・コンセプト	豊田市稲武地区の高齢者（65歳以上）をメインターゲットとする。																		
⑥事業費・採算性の説明	<p>1,567,160円 （内訳）</p> <table border="0"> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>77,760円</td> <td>（電話料）</td> </tr> <tr> <td>広報費</td> <td>223,800円</td> <td>（チラシ等印刷・折込費）</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>29,600円</td> <td>（通い箱、伝票 他）</td> </tr> <tr> <td>委託費</td> <td>396,000円</td> <td>（配達、集金委託費 100件×12月）</td> </tr> <tr> <td>雑役務費</td> <td>840,000円</td> <td>（7ルハ`ト料）</td> </tr> </table> <p>※配達料や手数料で1件当たり250円程度の収入があり、これを事業費に充てる。 （参考） （高齢者の配食サービス（「食」の自立支援事業））（稲武地区の場合） 20件以上の独居老人がサービスを受けている。 希望に応じ、日～土の昼食を配達（午前中に配達を完了）</p>				通信運搬費	77,760円	（電話料）	広報費	223,800円	（チラシ等印刷・折込費）	消耗品費	29,600円	（通い箱、伝票 他）	委託費	396,000円	（配達、集金委託費 100件×12月）	雑役務費	840,000円	（7ルハ`ト料）
通信運搬費	77,760円	（電話料）																	
広報費	223,800円	（チラシ等印刷・折込費）																	
消耗品費	29,600円	（通い箱、伝票 他）																	
委託費	396,000円	（配達、集金委託費 100件×12月）																	
雑役務費	840,000円	（7ルハ`ト料）																	
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	商店街として、共同で配達事業を行うことで、免許返納した酒屋の配達や地区内の贈答などの配達を共同で行い各店舗のサービスを補完することができる。また、参加店と発注者からそれぞれ手数料を集金し、持続可能な体制の整備を目指す。																		
⑧事業効果	宅配サービスすることにより、新たな顧客を獲得するきっかけにし、個店の売上アップにつなげる。																		
⑨目標 評価指標 測定手法	<ul style="list-style-type: none"> ・利用登録世帯数 65件の登録を目標 （稲武地区の世帯数 981世帯（R3年4月1日現在）の内、約7%の世帯に利用登録をしていただく） ・宅配及び配達事業の利用件数 100件（月当り）【R4年度目標】 																		
⑩推進体制	自治区長、老人クラブ、民生委員と連携をとりながら推進																		
⑪関連計画や事業（地域の動き等）	「食」の自立支援事業（配食サービス） （豊田市高齢福祉課）																		
⑫計画期間の事業スケジュール	項目	4年度【1年目】	5年度【2年目】	6年度【3年目】	7年度【4年目】														
	事業	4月～本格運用 12月～運用結果分析 2月～次年度計画作成	4月～本格運用 12月～運用結果分析 2月～次年度計画作成	4月～本格運用 12月～運用結果分析 2月～次年度計画作成	4月～本格運用 12月～運用結果分析 2月～次年度計画作成														
	予算（千円）	1,567	1,567	1,567	1,567														
	関連計画や事業	「食」の自立支援事業（配食サービス） （豊田市高齢福祉課）	「食」の自立支援事業（配食サービス） （豊田市高齢福祉課）	「食」の自立支援事業（配食サービス） （豊田市高齢福祉課）	「食」の自立支援事業（配食サービス） （豊田市高齢福祉課）														
	市補助金の申請見込み	有	有	有	有														
	目標達成状況	件数(月) 100件 金額(月) 300,000円	件数(月) 105件 金額(月) 315,000円	件数(月) 110件 金額(月) 330,000円	件数(月) 115件 金額(月) 345,000円														

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	消費動向等分析・テナントミックス事業				
	事業区分	新規・継続	事業開始年度（継続の場合のみ）		
②実施予定時期	令和4年4月～令和8年3月				
③具体的内容	<p>（データ収集・分析）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎調査（地域住民のニーズ調査、客層や商圈分析、街区調査、来店調査 他） →稲武地区並びに周辺地区住民にアンケートを実施するとともに、道の駅利用者にもアンケートを実施する。 A Iカメラを活用した来店者の属性やどこの地域からの来店か等の調査を実施する。（チャレンジショップ事業の実施） 令和4年7月にリニューアルオープンする「どんぐり横丁」（道の駅内）に観光協会と共同でコーナーを確保した。この場所を活用したチャレンジショップ等の事業展開を予定しており、この事業より来店者の属性や消費動向等のデータを収集し、最適な事業者等のテナントミックスに向けた検討資料とする。 <p>（計画策定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 稲武地区は過疎化と高齢化が大きな課題である。地域住民だけでなく、区内最大の集客場所である道の駅への来訪者も想定した計画策定を行い、最適な事業者等のテナントミックスの構築を目指す。 <p>（計画の実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> 策定した計画に基づき、テナントミックス事業を実施する。 				
④必要性・目的	<p>地域の過疎化や高齢化が大きな問題である。稲武地区の場合、道の駅への来訪者を取り込むことを含めた計画策定が必要である。商店主の高齢化等により、商店街の活気が失われつつある。このような状況を打破するには、得られたデータを基に検討し、魅力ある店舗と最適なテナントミックスを目指し、吸引人口を増加させる計画策定が必要である。</p> <p>この最適なテナントミックスを目指した計画が、移住者を含めた今後の創業支援や事業承継の推進につながる。</p>				
⑤ターゲット・コンセプト	豊田市稲武地区及び周辺の住民と名古屋市民等、並びに遠隔地観光客。地域住民、周辺住民の生活圏確立と名古屋市民等、遠隔地観光客のリトリート（心身リセット）の場所として地域活性化に結び付ける。				
⑥事業費・採算性の説明	令和4年度 （内訳）	4,860,000円 報償費 330,000円 （専門家謝金・旅費） 委託費 3,000,000円 （調査等委託費） 消耗品費 1,000,000円 （広報チャレンジショップ改修費用） 外注費 500,000円 （設備工事費） 雑費 30,000円	令和5年度 （内訳）	2,690,000円 報償費 660,000円 （専門家謝金・旅費） 委託費 2,000,000円 （調査等委託費） 雑費 30,000円	
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	地元住民や観光客等を商店街に誘導するためには魅力ある商店やサービス店等が増える必要があり、この事業をとおして作成したテナントミックスやチャレンジショップを今後の商店街での創業支援や事業承継支援の推進につなげることができ、他地区のモデルとなる。				
⑧事業効果	稲武地域での開業支援となり、商店街の不足業種の補完や、稲武地域への移住者や観光客等の入込客を含めた関係人口の増加が期待され、商店街の活性化に寄与する。				
⑨目標 評価指標 測定手法	チャレンジショップ出店者の中から、1店（年間）以上の創業者の確保を目指す。更に、商店街の既存店舗の中から、業態・業種転換に取り組む事業者を1店（年間）以上の確保を目指す。また、吸引人口の3%増を目指す。				
⑩推進体制	豊田市、豊田信用金庫、稲武商工会、専門家 他 と連携をとりながら推進				
⑪関連計画や事業（地域の動き等）	稲武地域まちづくり推進協議会、いなぶ観光協会				
⑫計画期間の事業スケジュール	項目	4年度【1年目】	5年度【2年目】	6年度【3年目】	7年度【4年目】
	事業	5月～6月 チャレンジショップ出店者募集 7月～2月 チャレンジショップ事業データ収集・基礎調査 1月～3月 調査分析	6月～7月 チャレンジショップ出店者募集 10月～11月 AIカメラを活用した調査・事業者調査 1月～3月 計画策定	テナントミックス事業	テナントミックス事業
	予算（千円）	4,860	2,690	1,000	1,000
	関連計画や事業	いなぶ観光協会	いなぶ観光協会	いなぶ観光協会	いなぶ観光協会
	市補助金の申請見込み	有	有	有	有
目標達成状況	新規創業者 1名	新規創業者 1名 業態・業種転換事業者 1名	新規創業者 1名 業態・業種転換事業者 1名	新規創業者 1名 業態・業種転換事業者 1名	

4 区域内における不足等業種

① 当商店街（商工会）が掲げる不足等業種

- **飲食店**

- **惣菜店**

- **生鮮食品小売業**

② 上記業種を不足等業種として掲げた理由（簡潔に）

（飲食店）

当商店街には、飲食店はあるものの、和食を中心としたお店がほとんどであり、事業主も高齢化しており、廃業が危惧される店舗が多い。また、定休日の関係もあり、月曜日や火曜日だと紹介する店がない状況もある。地区外から見える方は食へのこだわりが強く、新規開業するにも取組みやすい業種であり、今後の需要が見込まれる。

（惣菜屋）

当商店街の惣菜・弁当を扱う店は1店舗のみであり地区住民からも人気の高い店舗である。しかし、事業主の高齢化により廃業が危惧される。

（生鮮食品小売業）

当商店街には生鮮食品を購入できる店が2店であり、事業主の高齢化により1店舗の廃業が危惧される。

③ その他参考情報等

（空き店舗情報（令和3年4月1日時点）

- ・ 豊田市稲武町タヒラ1-4 2階建て木造家屋